



布団太鼓

2026年7月14日撮影 市町提供



2026年
9月号
奇数月1日発行



発行所
朝日新聞小林新聞舗
だんじり新聞編集室
平野区流町1-4-1
TEL6790-0022
FAX6790-1822

21世紀型電器店

電器の
困ったことは
当店まで



アトム電器
平野流町店
TEL06-6702-1417

「平野」の町ダネ情報
「中喜連村大絵図」現る!

喜連(キレ)は大陸からの渡来人「伎人(くれひと)」のクレが訛った地名で、縄文時代、喜連は古代河内湾南岸の良港で、大陸文化の玄関港でした。中世、喜連全体は如願寺を主館とした喜連城となり、周りは防御のため深さ3mの環濠(堀)で囲まれました。江戸時代には環濠は用水路に変わり、中高野街道沿いには酒・油・薬等の地場産業が生まれ、今に残る歴史的建造物である寺社や古民家が建ち、環濠の六出入口には地藏尊が祀られたのです。

そういった古い歴史を有する喜連では「喜連村史の会」が結成以来19年、地域資料の収集・研究を続け、21件が大阪市文化財に指定されています。中でも2013年会員の辻野さん宅の蔵から発見された畳5畳分の「東・西喜連村大絵図」(1816年)は圧巻で、「歴史的価値のある発見!」と2022年大阪歴史博物館で開催された「喜連展」でも展示されました。

そして今回、更なるビッグニュースが! 4月、会の代表で寶圓寺住職白川俊義さんのもとに平野宮町の「古書からたち」から1本の電話が。「中喜連村大絵図(1778年)が出た!」と。重要な資料であることは明らかなの、購入及び保存費用として100万円は必要。そこで地域の方々に支援を呼びかけたところ何と1か月で目標額を達成し、無事買入れることができたそうです。

「コスバ重視のこの時代に、歴史資料に対して皆さんにこれだけ関心を持って頂けたのは驚きでした。喜連の宝を守るという住民の方々の熱意を実感しました。」と白川さん。これと先に見つかった絵図は対を成すもので、これによって三村に分割された喜連の土地と年貢の全体像が完全に明らかに。まさに、喜連の歴史をつなぐ「ラストピース」だったのです。大きさも更に大きく畳6畳分。表装仕上がりで4.8m×2.1m。7月25日(土)、恒例の「喜連灯火の夕べ」にて寶圓寺本堂でお披露目されました。今後は毎年お盆の頃に展示予定とのこと。今年見逃した方は来年是非ご覧下さい。



中喜連村大絵図と説明する白川さん



喜連くん

今年もかき氷に綿菓子、玉子せんべいや冷やしパイン等の食べ物、金魚すくいやスーパースクール等、九町の屋台が所狭しと並び、それを楽しむ子ども達の笑顔が溢れました。8月1日は午後7時頃から子どもだんじりと子ども布団太鼓の宮入。大人顔負けの威勢のよさで盛り上がり、当神社の祭神、阿加留比売命(女神様)も目を細めてご覧になっていたことでしょう。



今年の三十歩子どもまつり

平野郷夏まつり実行委員会
三十歩子どもまつり部会

毎年7月31日と8月1日、三十歩神社(正式名称「赤留比売命神社」)に平野東2-11にて子どもまつりが行われます。その準備と運営を担っているのが当部会であり、地域の子とも達に楽しんでもらおうと頑張っております。「祭りやだんじり好きの子とも達が少なくなる中で、子ども達にもつと祭りの良さと楽しさを理解してもらえよう活動しています。祭り期間中は騒音やゴミ問題で色々迷惑をおかけしますが、掃除等をしっかりと行いより一層皆様に喜んで頂けるように頑張りますのでご理解の程宜しくお願い致します。」と三十歩子どもまつり部会担当の方。昨今仕入れ価格が高騰する中、子ども向けなので安く販売する必要がありますが、その点に苦勞されているそうです。尚、毎年青果関係の仕事をしている方からスイカの寄付があり、8月1日に社務所前で無料で振る舞われています。

朝日新聞の読者にお届けしています!

発行部数1万部(創刊1983年)

日頃は朝日新聞のご購読を賜り、誠に有難うございます。9月度は、14日(月)付け朝刊がお休みです。何卒、ご了承の程、よろしくお願い申し上げます。

(株)小林新聞舗



「平野」の町が、不情報

平野の映像鑑賞会開催！

「弥生人の足跡をたどって」

10月18日(日)、14時～16時20分、平野図書館2階多目的室にて。定員40名(当日先着順)。今回は故松村長二郎さん制作の加美遺跡発掘調査(1984年)の模様と昭和から平成にかけての平野郷の懐かしい風景が映った作品を上映。加美遺跡からは近畿最大規模の弥生時代中期の墳丘墓が発見され脚光を浴びました。子どもを含む23基の木棺の内、壮年男性を葬った二重の木棺では人骨までしっかりと確認できます。その他日常生活で使われた大量の土器や木製品、桃の種やクルミ、様々な動物の骨やクジラの骨まで出てきたようです。特にローマを感じるのは弥生人の足跡。南方系のかなり大きなものだったとか。この松村さん渾身の作品「古代への道を求めて」は第10回日本映像フェスティバルで銅賞を受賞しました。尚、『加美遺跡墳丘墓』はコミニティプラザ平野(長吉出戸5-13-58)に展示されています。



「加美遺跡Y1号墳丘墓」

映像終了後、第2部では町歩きガイド「平野の風」代表の佐野さんと吉田さんが登場。「古代の道標」と題して、加美遺跡の映像に関連し弥生時代中期から古墳時代にかけての集落遺跡が何を物語るのか、解説します。お二人共弥生人の足跡に言い知れぬロマンを感じたそう、何を語って下さるのか楽しみです。

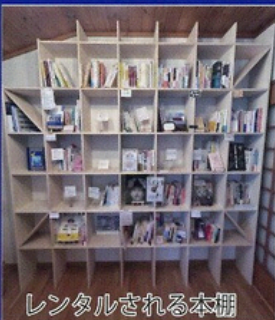
シェア型書店

「ひよんな本や」オープン！

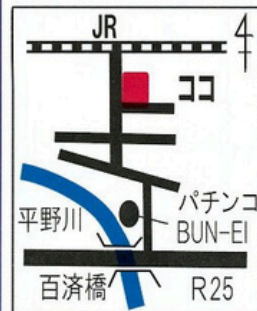
5月2日、加美西の住宅地に、平野では多分初めてであろうシェア型書店がオープンしました。1区画の棚を借りて、自分の好きな本を売ることが出来る書店です。

「舟の杜」代表の廣尾京子さんと女性スタッフ2名で運営されています。平野区内で障がいを持つ方の就労支援をする中で「仕事以外の居場所作りや、特に本好きの方のコミニティができればいいな」との想いから、ひよんなな出会いをプロデュースすべく『ひよんな本や』の誕生となりました。

出品できる本は主に書籍(新刊、古本、自費出版物等)ですが、絵や写真、ご自身のアート作品等も可能です(要相談)。「自分に影響を与えた本、支えてくれた本、何かのきっかけになった本、お守りのような本等、是非紹介したい本を置いて下さい。」とのこと。本を通して



レンタルされる本棚



funenomor.i.info@gmail.com

「ひらのいま・むかし」

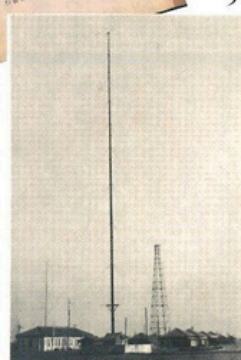
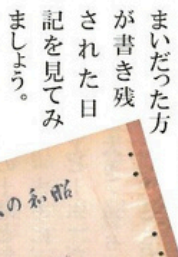
9

関東大震災と平野

九月一日は「防災の日」です。昭和(私)が子どもだった頃には、「防災」と言え

ば九月で、「大震災」と言えば、「防災の日」制定の契機となった関東大震災でした。

一九二三(大正十二年)九月一日午前十一時五十八分、神奈川県西部を震源とする地震が発生し、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度6(当時)を観測し、北海道道南から中国・四国地方にかけての広い範囲で震度5から1が観測されました。大阪では震度4を観測したとされています。平野ではどうだったのでしょうか。



平野無線電信局の鉄塔

「平野無線電信局は住吉区平野に在る。二百五十尺に鉄塔に無線を受信する空中線が張られていると紹介されています。大正から昭和の初め、七十五メートルの高さの鉄塔は人目を引くものだったことでしょう。」

九月一日の記述に「十二時過地志ん(地)震。ゆる。皆びつくり志(し)て表へる。」とあります。ただ、揺れたことにびつくりはしたものの大きな被害があったわけではなかったよう、夜は早寝しています。翌日(二日)に新聞の号外で、東京の大震災を知ったようです。「地震も未だ止まぬ。又、津波も有る。」とも書いています。三日にも「東京は未だ大そうどう(騒動)で、毎日毎日、度々号外が来る。」と書いています。テレビはもとよりラジオもない時代、新聞が情報源だったことが分かります。

地震に見舞われた直後から、東京のほとんどの新聞社は印刷機が壊れたり、火事になったりして、新聞を刷れない状況に陥っていて、被害の状況は、社員を大阪へ送ったり、電話や無線電信で伝えたりしていました。大阪では、こうしてもたらされた情報で号外を発行しました。このとき無線電信の受信拠点の一つになったのは、この年の四月に平野郷に開局していた大阪無線電信局でした。新聞社や通信社の社員がこの平野郷の無線局に詰めて、徹夜で新しい情報が入ってくるのを待っていたのだそうです。『大阪案内』(大阪の商品編集部編集・発行、昭和十年)という本には、「平野無線電信局」の写真とともに、「ここでまいだつた方が書き残された日記を見てみましょう。」

インフォメーション

● 催し物 ●

● 大人向けお楽しみ会 あつぷつぷと歌って笑おう

9月13日(日)、11時〜12時。平野図書館(平野東1-8-12) Tel. 6793-1088

● 平野区画整理記念会館催し物
中野2-7-16 Tel. 6702-10513 申し込みは会館窓口、チケットぴあにて

● ひらの寄席
9月10日(木)、13時30分〜。定員300名。料金前売り1100円。上方落語会を担う実力派落語家たちが一堂に会する豪華落語会。出演は月亭希遊、桂小梅、桂春若、桂よね吉、林家をめすけ改め林家染団治。

● 映画会「TOKYOタクシ」
9月27日(日) ①10時30分〜②13時30分。定員200名。料金前売り770円、当日880円。東京を舞台に一台のタクシイが様々な人々を乗せ、それぞれの人生や想いが交差していく心温まる物語。

● 歴史講座 三国志〜主君を変えた男たち〜
①9月5日(土)呂布(最強の男)②9月12日(土)陳宮(曹操を裏切った男)③9月26日

● 東森医院
平野本町3-15-12 Tel. 6791-10067 (木曜 祝日 休診) 地域密着型医院。眠っている間に快適に受けられる内視鏡検査(土曜・日曜、当日予約可能。前処置と鎮静にこだわった個別対応の大腸カメラ。診療から薬の受取まで院内で完結。24時間365日対応可能な在宅医療を提供。

(土)賈翔(曹操に勝った男)④10月17日(土)龐徳(糧を擁護して死戦を決す)⑤10月24日(土)孟達(王者に靡く)⑥10月31日(土)張郃(木門道に死す)13時30分〜15時。定員各100名。料金6回セット前売り5500円、当日6050円。各回100円。当日1100円。当日1320円(テキスト代含む)。講師は龍谷大学、竹内真彦教授・三國志学会評議員。

● 平野区役所より「マイナナンバーカード出張申請サポート実施」
9月6日(日)、11時〜17時。クレオ大阪南3階研修室(喜連西6-12-33) 9月21日(月・祝)、10時〜16時、イズミヤショッピングセンター平野2階多目的スペース(平野宮町1-6-2) 9月22日(火・祝)、23日(水・祝)、11時〜17時。平野区民センター2階会議室(長吉出5-13-58) 詳細ははこちら

● 開店情報 ●
● 東森医院
平野本町3-15-12 Tel. 6791-10067 (木曜 祝日 休診) 地域密着型医院。眠っている間に快適に受けられる内視鏡検査(土曜・日曜、当日予約可能。前処置と鎮静にこだわった個別対応の大腸カメラ。診療から薬の受取まで院内で完結。24時間365日対応可能な在宅医療を提供。

● 東森医院
平野本町3-15-12 Tel. 6791-10067 (木曜 祝日 休診) 地域密着型医院。眠っている間に快適に受けられる内視鏡検査(土曜・日曜、当日予約可能。前処置と鎮静にこだわった個別対応の大腸カメラ。診療から薬の受取まで院内で完結。24時間365日対応可能な在宅医療を提供。

◆ 昔のまちなみの写真があるとほんとになつかしくて…昔のお話もうれしいです。(ANさん・瓜破3丁目・68才・女性)
◆ ずーっと昔(60年程前)に平野区野堂町に住んでいました。その頃開店したイオンモールが田んぼの中にボツと建っていました。(YNさん・東田辺3丁目・91才・男性)

◆ 布団太鼓が20年ぶりに修復されたので、7月14日三十歩神社に行きました。朱色の布団も金と白の飾り物もピカピカでした。布地を取り外して保管するという事は知らなかったです。(TMさん・平野東1丁目・50才・女性)
◆ 長く平野に住んでいましたが「平野こんにやく」初めて聞きました。食べてみたいです。(RHさん・東田辺2丁目・62才・女性)

読者からひとこと

PRESENT

だんじりせんべい

- ◎手焼きせんべいの老舗戎堂湯里店製造
- ◎だんじりの焼き印の小林新聞舗オリジナル商品
- ◎2枚入り×5セット
- ◎非売品 ◎5名の方に進呈

平野ごんにゃく

- ◎平野大絵図に載っている名産品
- ◎ひじき、銀杏、ごま、人参を練り込んだかやくこんにやく
- ◎酢味噌をセットして1個500円
- ◎5名の方に進呈

フェルメール《真珠の耳飾りの少女》展 オリジナルクリアファイルと額絵のセット

- ◎大阪中之島美術館での開催を記念して、オリジナルグッズのプレゼント
- ◎非売品 ◎10名の方に進呈

※プレゼントご希望の方は、FAX(6790)1822もしくはハガキに希望商品番号と住所・氏名・年齢・電話番号を書いて、だんじり新聞編集室(〒547-0032 流町1-4-1)までお申込み下さい。締切日は9月10日(木)当日必着。尚、紙面作りの参考のため、「だんじり」を読んでいる感想や、ご要望等を一言お願いします。お客様の個人情報は当ASAが責任を持って管理しています。

編集室から

東日本大震災での福島第一原子力発電所の事故から今年で15年になります。当原発の1〜3号機には推計880トンの核燃料(デブリ)が残っており、強い放射線を放つデブリの取り出しは廃炉工程の本丸なのに難航を極め、これまでの回収量はわずか数グラム程のようです。1日20キロ取り出すとしても170年かかるという試算も。デブリ冷却後の汚染水を保管するタンクも限界で2023年からは海洋放出も始めています。事故後再稼動した国内の原発は関西電力の大飯・高浜・美浜を含め15基。CO₂を出さない発電と分かっている強い危機感を感じません。(森田順子)



アトム電器活動報告



【蛍光灯からLEDへの交換工事を行いました】

2027年末をもって蛍光灯の製造および輸入が順次禁止されるため、早めのLED化をおすすめしております。(既存の店舗在庫につきましては、引き続きご購入いただけます。)
なお、電球タイプの交換はお客様ご自身で可能ですが、直管形などの配線工事を伴う蛍光灯については電気工事士の資格が必要です。
「LED化を検討している」「費用や工事について知りたい」という方は、まずはご質問やご相談だけでも大歓迎です！
無料でお見積りに伺いますので、どうぞお気軽に当社へご相談ください。



【アトム電器が選ばれる理由】

- ★地域密着！電球1個からすぐ駆けつけます
- ★購入後も安心の「アフターフォロー充実」
- ★家電のことなら何でも相談できる親身な対応



アトム電器 平野流町店

〒547-0032 ☎ 06-6702-1417
大阪府大阪市平野区流町1丁目4-1
受付時間：9:30〜18:00(日曜日定休)



だんじり新聞を見た方限定！ (期間限定次回だんじり新聞発行まで)

特別価格10,000円！消費税・取付費込み
限定5台 (通常13,200円税込み)

8 畳用	全光束 4,299lm	昼光色 6500K
---------	----------------	--------------

東芝 LEDシーリングライト リモコン付
品番 NLEH08MALA-DLD



1. 驚くほど「しっかり明るい」
2. 用途に合わせて自在に「調光」
3. 目に優しい「LED常夜灯」6段階
4. 長く使える安心感「5年保証」



昔の平野 写真館 Vol. 127



かつての「染と織・まつや」(平野本町3-8-1)の店頭です。2015年に店主の松村長二郎さんが亡くなられて閉店。その後他店が入りましたが、現在は一帯の長屋は取り壊されています。松村さんは平野の町を中心に数多くの貴重な映像を撮り、「平野町ぐるみ博物館」の1つ「平野映像資料館」館長としても平野と深く関わってこられました。また、松村さんが会長を務めた「平野郷HOPEゾーン」の活動は高い評価を受け「町づくり功労賞」を受賞し、当時の国土交通省冬蔵大臣から表彰されました。「平野のことなら松村さんに聞け」と言われるくらい平野の生き字引のような方でした。2010年5月には「平野の町づくりを考える会」活動30周年を記念して「長二郎のなつかしい昭和伝」が発行されました。

(平野本町 故今井さん提供)

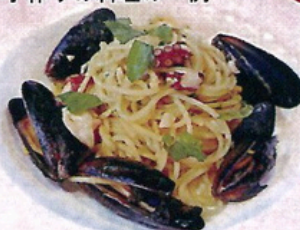


店内

今回紹介する『ロータス』は平野川から少し入った所にあり少々分かりづらい故にか、「お昼はゆったりと、夜は大人の隠れ家として」とうたっているのも納得。ママの細井徳子さんは千日前のビルで店を持っていたが、路面店で食事のできる店をしたいと思っていたところ、市町の友人から空き店舗があると聞き移転を決意し、昨年8月31日に開店。それと共に市町の住人に、元カラオケスナックだったという店内はボックス4名席が2つにカウンターが8席。昭和レトロな雰囲気ゆつたりとしています。

もう一つのうたい文句で『食事が美味しい Bar LOTUS』というだけあり、ママの作る料理は一級品で、材料にこだわらずすべて手作りで、本日の夜のメニューとして、タコのアクアパッツア、サーモンのバターグリル、ポテトとベーコンガリックグリル等々。ちよつとおつまみではめんたいバケット、剣いかガリックバター、大根となすの田楽みそ等があり、どれも一度は食べてみたくなる魅力的な品々かと。

ママ手作りの料理の一例



アムール貝のペペロンチーノ

だと、料理1品、飲み物1杯、カラオケ歌い放題。飲んで、食べて、歌って、ストレス解消になりそうですね。6名以上で貸しきりOK(要予約)。「飲み放題、食事付きで安くさせて頂きます。お気軽にご相談下さい。」とママ。人当たりのよさそうなママのおしゃべりも楽しそうですよ。若い方にもって来てもらいたいと思っておられます。皆さん、地図をしっかりと見て、是非一度ご来店下さい。

【営業時間】ランチ11時～14時頃(なるべくお早めに！)夜は19時～。水曜休み。【問合せ】平野市町1-1316 TEL090-01235410132



第一回 桂八十助、落語会 これからの介護と生活

9月5日(土)

開場 17時
開演 17時30分
木戸銭 2,000円
会場 平野流町亭
(株式会社小林新聞館)
平野区流町 1-4-1

お問合せ先

開家(ぶんや)(動物園前・勤業亭3F)
TEL06-6948-6626 TEL090-7882-7672
(受付:平日11時から16時)